

<別紙> 情報提供様式

①事例名	
スクール・サポート・スタッフの「気づき」を効果的に活用し、学校の教員の超過勤務時間の縮減	
②学校名	
野州市立中主小学校	連絡先 077-589-2012
③取組分野(複数選択可)	
<input checked="" type="checkbox"/> 教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)の効果的な活用事例	
④直面していた課題(取組前の様子)	
<p>・するべき業務が多く、授業の準備や考える時間がなく、80時間以上超過する教員の割合が高い。それに伴い疲弊する教員が多かった。行事や来客対応時の準備や細かな配慮ができていないこともあり、当日慌てて準備することも多かった。</p>	
⑤在校等時間の縮減に向けた具体的な取組内容	⑥参考となる写真や資料を添付
<p>スクール・サポート・スタッフへの依頼書にやっていただきたいことを書いておくと、時間を見つけて取り組んでいただける。</p> <p>頼まれたことだけでなく、来客対応や保護者の案内、教職員が気づかない場所、気がついていても時間がなくてできない場所の掃除やストップウォッチの電池交換、壊れた物の修理、ゴミ出し、物品の補充など進んで行き、教職員が働きやすいような環境づくりを行っている。授業支援では、教材づくりや掲示物のラミネート加工、丸付けや教室の子どもの見守りなど多岐にわたり学習の支援を行っている。</p> <p>用務員が休みの時は、特に活躍し、教頭の仕事の負担軽減につながっている。</p> <p><u>取組のポイント</u></p> <p>教職員が言わなくても、自ら、行き届かないところを察知し、素早く行動に移し、円滑に教育活動が進められるように遠慮せず動いてもらうことがポイントである。</p>	 <p>埃に気づき階段を掃除する様子</p>
⑦取組の成果	 <p>考える時間ができ、落ちついている職員室の様子</p>
<p>教員が授業の構想を練る時間が確保でき、教材研究をする時間が確保できた。一人職の用務員や事務職員が休みの時、すべて教頭に仕事がまわり、1日ではやりきれない業務となるところをスクール・サポート・スタッフが担うことで、教頭は、通常の業務を執り行うことができ、軽減が実感できた。</p> <p><u>成果のポイント</u></p> <p>日々忙しくじっくり考える時間が取れない教員が、スクール・サポート・スタッフの「気づいたら動く、作る」で働きやすい環境や時間の確保ができていることが超過時間の短縮につながっている。</p>	